

高山西ロータリークラブ 創立1966年1月15日

例会報告



第2807回例会
令和8年3月6日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 門前 庄次郎
- 幹事 杉山 和宏
- 会報委員長 堀 幸一郎

大垣共立銀行高山支店 4F

お祝い・社会奉仕委員会例会

<会長の言葉>

昨日は各中学校で3年生の修了式があり、そこで当クラブの「義務教育9カ年皆出席」表彰が行われました。以前もお話しましたが、今年度は7つの中学校で17名の政登さんが見えましたが、それぞれの学校に向向いて頂きました皆さん、ご苦労様でした。表彰された生徒さんも喜んだと思いますし、皆さんも先生ではないので中々三年生全員の前に話す機会もそうはないので新鮮だったのでは無いでしょうか。有り難うございました。さて本日はゲストにインドネシアの方に来て頂いておりますが、改めて外国の方と高山市の関係を考えて見ますと、観光都市なので多くの方に訪れて頂けるのは、有り難い事だと思います。高山市の統計を見ると2024年は約77万人が宿泊されたそうで、コロナ前の61万人を大きく上回ったそうです。それにつれて宿泊施設が必要になり、ホテルや民泊がどんどん増え、労働人口が足らなくなり、外国の方の手を借りなければやっていけなくなり、ホテルなどで働かれる方が多くなると言う「風が吹けば桶屋が儲かる」じゃ無いですが、それが現状の様です。また労働人口減少の遠因の一つとして若者達の故郷離れが有ると思います。都会に出ているんなスキルや知見を広げても故郷ではそれを生かす場所が無い、働くところが無い。良く言われる事だと思います。でも働き先が少ない沖縄県はUターン率が全国平均は42.4%のところ69%だそうです。経済指標が高いとは言えない北海道や宮崎県もUターン率は高いそうです。都市機能や住環境について研究されている島原万丈さんによりますと、「寛容性」有るかどうかと言う事です。寛容性とは、他の可能性を認める事。こうで無ければ行けないと決めつけない事だそうです。高知県の黒潮町は太平洋に面した4キロの砂浜にTシャツを干す様に並べるイベントを30年以上続けていて、今では年間3万人が集まるイベントに育ち、地元での雇用も生んでいるとのこと。学ぶべき事は「この砂浜は何も無い」から「何も無いなら何でも出来る」と考える事だと思います。新しい事を始めようとする人を受け入れる素地が有るか。それが寛容性であり、邪魔をしない、口をださない、足を引っ張らない、新しい事を始める人を応援する。そんな地域に人は集まると言う事のように思います。高山市は十分に寛容性が有るように思いますが、少子高齢化・人口減少には何とか逆らい、若い人達のエネルギーに期待したいところです。



<例会変更>

- 高山中央RC・・・日 時：3月16日(月) 休会
- 理 由：定款により
- 日 時：3月23日(月) ⇒
- 3月15日(日) 9:30~
- 理 由：ポリオ根絶募金例会
- 会 場：高山陣屋前広場
- 美濃加茂RC・・・日 時：3月13日(金)
- 場 所：シティホテル美濃加茂
- 12:30 →
- リバーポートパーク美濃加茂11:00
- 理 由：メンテナンス例会のため
- 日 時：3月20日(金)→休会
- 理 由：定款により

<受贈誌>

- 高山中央RC・下呂RCより 会報
- 高山市民時報 2月20日号
- 月刊 BLESS 3月号
- 玉蘭荘便り 189号
- 株式会社オクトンより 2026年度版カタログ

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
27名	-	27名	40名	71.05%

<本日のプログラム> 今月のお祝い

◎会員誕生日



堀 幸一郎 佐藤 貴史 川瀬 裕之
3.5 3.12 3.2

◎配偶者誕生日

なし

<幹事報告>

◎RI日本事務局より

- ・3月のロータリーレートについて
1ドル 156円 2月154円)
- ・財団室NEWS 「水と衛生月間」
2026年3月号

◎ガバナー事務所より

- ・台北国際大会ご案内(別紙)
- ・バギオだより vol.113



例会報告

◎結婚記念日



阪下 六代 3. 9



川瀬 裕之 2. 1
(先月欠席)

◎出席表彰 なし

◎在籍周年記念表彰

田中 武 25年



◎3ヶ月表彰

・内田 幸洋 ・門前 庄次郎 ・塚本 直人 ・水梨 弘基

<雑誌の紹介>

会報・雑誌・広報委員長

堀 幸一郎

【横組み6ページ】水マネジメントの現場

本特集では、水と衛生月間にちなみ、テキサス州バッキン湾の水質改善の取り組みが紹介されています。かつて豊かな漁場として知られた湾は、農地や住宅地から流入する肥料や排水の影響で水が濁り、生態系の悪化が深刻化しました。そこで科学者や市民、行政、ロータリークラブが連携し、自然の力を活用した再生プロジェクトが始動します。中心となったのは「レインガーデン」と呼ばれる雨水浸透型の緑地整備です。雨水を一時的に貯留し、土壌や植物の働きで汚染物質を除去するこの仕組みは、洪水防止や地下水涵養にも寄与します。ロータリー財団のグローバル補助金を活用し、学校での設置や地域住民の参加を通じて、環境教育と地域再生を同時に実現しました。小さな庭づくりが湾全体の再生へと広がる姿は、地域行動が持続可能な変化を生む好例といえます。【縦組み2ページ】南海トラフ巨大地震を乗り切る本講演では、いつ発生してもおかしくないと言われる南海トラフ巨大地震について、最新の被害想定や臨時情報の捉え方、そして私たちが取るべき備えが解説されています。過去の昭和東南海地震・昭和南海地震などの事例から、発生周期には幅があり「まだ来ない」と安心はできないことが示されました。政府が示す発生確率は幅を持つ数字ですが、重要なのは数値そのものよりも「より厳しい想定で備える姿勢」です。天気予報で降水確率が高ければ傘を持つように、確率が示された段階で具体的な行動を取ることが防災の基本だと強調されます。また、食料・飲料水・トイレ・医薬品などの備蓄、情報収集、日頃からの訓練といった「小さな積み重ね」が被害を減らします。想定外をなくす努力こそが、巨大地震を乗り切る鍵であると訴える内容でした。



<社会奉仕委員会>

委員長 井口 大輔

昨年、国内全産業で深刻な問題となっており、一朝一夕で解決できない少子による人口=人出/エ数不足。

当 RC の定例となっており、昨日行った [義務教育9カ年皆出席表彰] ですが、対象だった今年の全市中学3年生は総数で715名。第2次ベビーブームと云われる平くん、僕の生まれた昭和47年=1972年製の頃は1クラス40人超*6前後はあったので、当時の旧市内4中学校中3校の生徒数と同等という数になります。こうした少子化に加え、高山も含めた地方は、子供たちの進学への定着/都会IYの憧れによる片道切符の離郷=逆Iターンもあって、超高齢化は加速するばかり。今の生活LV維持すらできないLVにあります。そうした課題への対策として国は平成5年=1993年から [外国人技能実習生制度] 制度が制定された平成5年=1993年といえば、僕がちょうどハタチの頃ですから… [じゃばゆきさん] という名前でフィリピンをはじめとするアジア女性達が繁華街に溢れていた頃だと思いますので、当時全盛期と思われる世代は、さぞお通いになられていたのではないのでしょうか。フィリピン、韓国、中国・対象となる国の情勢や発展度にもよって、日本に来てくれる国の国も変化していたのだと今になって思います。

令和元年=2019年からは特に深刻化している16分野については [特定技能] として制定、運用が始まると建設業や観光業をはじめベトナム、ミャンマーといった国を主流に受入していましたが、**ベトナム=ドロンが多発する・今内需が拡大/ミャンマー=国内情勢が超不安定で出国NG** ということから最近ではインドネシア・スリランカが多くなっているようです。平成5年=1993年前後には単年で450人入学、養成していた高山短大自動車整備科も令和となった近年は入学者が50人を切り、当時次々に新卒が養成されてきたことから、悪い言い方をすれば使い捨てのような待遇で、現場環境の改善が遅れた自動車整備業界も整備士の高齢化と担い手・エ数不足が深刻化。令和6年=2024年に特定技能として追加制定され、飛騨地区の同業でも受入する企業がチラチラとでてくるようになりました。弊社も [飛騨にくらすヒトの暮らしと安心を支え、お客様を止めない整備] をしていくためにより効率的な資格者のエ数確保の観点から今しかない！ということである12月からこの2名を受入させて頂きました。パラ資料に簡単な2人の紹介と実習生の説明と違いを記しましたが、**基本は3年ないし5年**になります。弊社がインドネシアにした理由は①親日国家②国内を走る80%超が日本車*今後10年安定して受入継続できるという点です。不安は90%がイスラム教という点でしたが、元々カトリックが主宗教で近年イスラム国家となったことから [マイルドなイスラム教徒] が多いのでガチは来ませんという話を聴き、見てお解り頂けるとおり [朗らかな人種] という最高の加点材料で決めました。皆さんの一番の懸念であるコミュニケーションについてですが昨年5/19のリモート面接の時はお互いまったく???状態で通訳さん任せだったのですが、採用決定後ご現地で半年日本語を学びはじめ、10月の現地帰国→11/1に入国→12/1に弊社配属会うたびに日本語の理解度が上がっています。今後の人不足・エ数不足への対策の参考にして頂ければ・・・と今回このような例会を企画させて頂きました。最後に本来であれば、昼食も一緒にとりながら交流して頂くつもりでしたが、マイルドなイスラム教というフレコミでも [ラマダン=絶飲食] はしなければいけない仕来りであり、今ラマダン期間ということで皆さんがお昼を美味しく食べているのを見ているだけというのも罪作りではないので、この時間からの出席になりました。僕も知りませんでしたが、絶飲食といっても [太陽が昇っている間だけ] ということでしたので特別に弁当にして頂きましたので、持って帰って今夜食べてもらう予定です。時間が少なくなった分、質問等の時間も限られてしまうので、例会後、個別でのコミュニケーションして頂いても結構です。宜しくお願い致します。



例会報告

〈ニコニコボックス〉

●門前 庄次郎さん・田中 晶洋さん・田邊 淳さん

本日のゲスト 新興自動車さんの技能実習生
アンドリ セティアワンさん・エム マルフ アコムディンさん
のご来訪を歓迎いたします。
スピーチを楽しみにしています。
いよいよ3/22から財団補助金事業を行います。
皆さんのご出席、ご協力をお願いいたします。

●岡田 賛三さん・田近 毅さん 鴻野 幸泰さん・塚本 直人さん

3月3日から5日まで東京八王子へ行って来ました。
4日は、八王子RCの方とゴルフ 5日は東京八王子RC
にメイクアップを岡田・田近・鴻野で行きバナナ交換
して来ました。
中島 一成さんも3日間付き合ってくださいました。
ゴルフは塚本さん・堀さん参加くださいました。

●田邊 淳さん

9ヵ年皆出席表彰にご協力いただいたメンバーの
方 ご協力ありがとうございました。
本日は業務の為 早退させていただきます。

●挾土 貞吉さん・阪下 六代さん・内田 幸洋さん 斎藤 章さん・古橋 直彦さん・田中 武さん 垣内 秀文さん・大村 貴之さん・榎坂 純一さん 堀 幸一郎さん・水梨 弘基さん・大屋 尚史さん 川瀬 裕之さん・熊谷 高志さん・村口 拓也さん 周 光大さん

平和の祭典ともいえるミラノオリンピックが閉幕したのもつか
の間、イランとアメリカ・イスラエルとの間で紛争が再び起こり
世界中に混乱が広がっていきそうです。ホルムズ海峡の閉鎖も含
めて、これ以上の拡大がないように早い終結を心から希望し
ます。

